平成23年9月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月10日

上 場 会 社 名　　SHO-BI　株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7819　URL http://www.sho-bi.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 寺田　一郎
問合せ先責任者　(役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 鎌形　敬史　　TEL 03-3472-7890

四半期報告書提出予定日　　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成23年9月期第3四半期の業績（平成22年10月1日～平成23年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	10,325	6.9	1,035	24.0	1,001	8.5	557	3.3
22年9月期第3四半期	9,658	2.1	835	13.6	922	△0.9	540	1.6

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第3四半期	41.61	―
22年9月期第3四半期	40.29	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第3四半期	10,645	4,424	41.6	329.95
22年9月期	10,401	4,158	40.0	310.07

(参考)　自己資本　　23年9月期第3四半期　4,424百万円　　22年9月期　4,158百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	―	0.00	―	22.50	22.50
23年9月期	―	0.00	―		
23年9月期(予想)				22.50	22.50

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　：　無

3.　平成23年9月期の業績予想（平成22年10月1日～平成23年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	0.2	1,160	8.5	1,250	8.3	730	3.7	54.44

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　：　無

4. その他（詳細は、【添付資料】５ページ「その他の情報」をご覧下さい。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　無

（注） 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

② ①以外の変更　　：　無

（注） 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年9月期3Q	13,410,000株	22年9月期	13,410,000株
② 期末自己株式数	23年9月期3Q	85株	22年9月期	85株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年9月期3Q	13,409,915株	22年9月期3Q	13,409,987株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）４ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 業績予想に関する定性的情報 …… 4
2. その他の情報 …… 5
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 5
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 5
3. 四半期財務諸表 …… 6
(1) 四半期貸借対照表 …… 6
(2) 四半期損益計算書 …… 8
【第３四半期累計期間】 …… 8
【第３四半期会計期間】 …… 9
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 10
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国等を中心とする持続的な成長に牽引され、堅調な外需と政府の経済対策の効果などを背景に、企業業績に一部持ち直しの動きが見られたものの、平成23年３月11日に発生した東日本大震災に加え、福島第一原発事故に伴う電力供給問題などにより、消費活動や企業活動は深刻な影響を受け、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社は販路を持った総合企画メーカーとして営業各部門にマーチャンダイザー（ＭＤ）を配置し、商品企画部門、品質管理部門と連携のもと更なる商品開発力の強化に努め、「品質・企画・価格・納期」の全ての面において信頼される商品力を身につけ自社企画商品の更なる拡大に努めてまいりました。これらの活動に伴い、既存販売先及び新規販売先との取引の深耕がより図られ、つけまつ毛をはじめとするアイメイク関連商品、キャラクター商品、文具及び各季節商品等の自社企画商品売上が順調に推移いたしました。

これらの結果、当第３四半期累計期間の売上高は10,325,581千円（対前年同期比6.9％増）、営業利益は1,035,731千円（対前年同期比24.0％増）、経常利益は1,001,214千円（対前年同期比8.5％増）、四半期純利益は557,958千円（対前年同期比3.3％増）となりました。

また、当第３四半期会計期間の売上高は3,378,927千円（対前年同四半期比5.8％増）、営業利益は205,383千円（対前年同四半期比3.5％減）、経常利益は189,795千円（対前年同四半期比21.6％減）、四半期純利益は109,626千円（対前年同四半期比21.0％増）となりました。

事業部門別の状況は次のとおりであります。

＜ヘルス＆ビューティー事業＞

主要販売先である総合スーパー向け売上（ヘルス＆ビューティー事業における売場）は、引き続き業界の厳しい状況の中で、一般仕入商品から自社企画商品への切替えによる販売に努めましたが、全般的に低調に推移いたしました。一方、ドラッグストア向け売上は、新規販売先の獲得をはじめ、既存販売先との取引の深耕、新規出店等により販売が順調に拡大し、自社企画商品であるつけまつ毛等アイメイク関連商品、東日本大震災後における夏の節電対策商品、各季節商品等の販売が順調に推移いたしました。この結果、当第３四半期累計期間の売上高は3,510,932千円（対前年同期比1.5％減）となりました。

＜ファンシー・キャラクター事業＞

総合スーパー向け売上（ファンシー・キャラクター事業における売場）は、業界の厳しい状況が続く中、一般仕入商品から自社企画商品の拡販をする方向性が実現し、文具、ギフト商品、別注商品（注）等が伸長し好調に推移いたしました。また、自社企画商品であるつけまつ毛等アイメイク関連商品、キャラクター商品等が主流であるバラエティストア向け売上、卸売業者向け売上、ＯＥＭ商品受注先及び別注商品受注先向け売上も好調に推移いたしました。この結果、当第３四半期累計期間の売上高は5,670,794千円（対前年同期比18.3％増）となりました。

（注）別注商品とは、販売先と共同で企画し、販売先に販売権があり発売元表示が当社である商品です。

＜その他の事業＞

ＯＥＭ商品の受注先である100円均一ショップ向け売上が、在庫調整の長期化等による影響で回復基調とならず引き続き厳しい状況で推移いたしました。この結果、当第３四半期累計期間の売上高は1,143,854千円（対前年同期比12.0％減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

①資産

当第３四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて243,601千円増加し、10,645,499千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて201,353千円増加し、7,007,353千円となりました。これは主に、現金及び預金が156,623千円、受取手形及び売掛金が256,840千円増加し、商品が150,669千円、その他が56,403千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて42,248千円増加し、3,638,146千円となりました。これは主に、無形固定資産が56,958千円増加し、有形固定資産が13,203千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第３四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて22,941千円減少し、6,220,883千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて374,276千円減少し、3,696,585千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が251,215千円、１年内返済予定の長期借入金173,800千円増加し、未払法人税等が250,338千円、その他が538,109千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて351,334千円増加し、2,524,297千円となりました。これは主に、長期借入金が375,300千円増加し、社債が50,000千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第３四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて266,543千円増加し、4,424,615千円となりました。

これは主に、利益剰余金が256,235千円、その他有価証券評価差額金が7,686千円増加（マイナスの減少）したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、税引前四半期純利益を979,449千円計上するとともに、たな卸資産の減少、仕入債務の増加、定期預金の払戻による収入、長期借入れによる収入があったこと、売上債権の増加、法人税等の支払、定期預金の預入による支出、短期借入金の返済による支出、長期借入金の返済による支出、配当金の支払があったこと等により前事業年度末に比べて156,623千円増加し、1,935,125千円となりました。

当第３四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は575,004千円（対前年同期比657.4%増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益979,449千円計上するとともに、減価償却費85,815千円、たな卸資産の減少155,766千円、仕入債務の増加247,112千円があったこと、売上債権の増加257,950千円、法人税等の支払646,922千円があったこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、115,648千円（対前年同期比65.5%増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1,935,000千円があったこと、定期預金の預入による支出1,935,000千円、無形固定資産の取得による支出62,864千円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、302,732千円（対前年同期比56.0%減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,500,000千円があったこと、短期借入金の返済による支出500,000千円、長期借入金の返済による支出950,900千円、配当金の支払300,737千円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第３四半期までの業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。平成22年11月10日に公表いたしました平成22年９月期決算短信記載の「平成23年９月期の業績予想」に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第３四半期累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ1,183千円減少し、税引前四半期純利益は7,468千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は20,911千円であります。

②表示方法の変更

（四半期損益計算書関係）

前第３四半期累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「為替差損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第３四半期累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第３四半期累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「為替差損」は22,967千円であります。

（四半期貸借対照表関係）

前第３四半期会計期間において、流動負債の「その他」に含めていた「１年内返済予定の長期借入金」は、負債及び純資産の合計額の100分の10を超えたため、当第３四半期会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第３四半期会計期間の流動負債「その他」に含まれる「１年内返済予定の長期借入金」は901,200千円であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第３四半期会計期間末 (平成23年６月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,390,125	3,233,501
受取手形及び売掛金	2,488,080	2,231,240
商品	756,657	907,327
貯蔵品	83,267	88,363
その他	291,422	347,826
貸倒引当金	△2,200	△2,260
流動資産合計	7,007,353	6,805,999
固定資産		
有形固定資産	1,063,751	1,076,955
無形固定資産	154,125	97,167
投資その他の資産		
投資不動産	1,774,656	1,782,163
その他	648,711	642,593
貸倒引当金	△3,099	△2,982
投資その他の資産合計	2,420,268	2,421,774
固定資産合計	3,638,146	3,595,897
資産合計	10,645,499	10,401,897
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,699,469	1,448,253
1年内返済予定の長期借入金	1,075,000	901,200
未払法人税等	109,784	360,122
賞与引当金	109,875	119,720
返品調整引当金	31,400	32,400
その他	671,057	1,209,166
流動負債合計	3,696,585	4,070,862
固定負債		
社債	700,000	750,000
長期借入金	1,185,000	809,700
退職給付引当金	137,349	149,779
役員退職慰労引当金	367,507	355,080
資産除去債務	21,097	―
その他	113,343	108,403
固定負債合計	2,524,297	2,172,962
負債合計	6,220,883	6,243,825

(単位：千円)

	当第３四半期会計期間末 (平成23年６月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	3,781,482	3,525,247
自己株式	△52	△52
株主資本合計	4,591,243	4,335,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,147	△19,834
繰延ヘッジ損益	△154,480	△157,101
評価・換算差額等合計	△166,627	△176,936
純資産合計	4,424,615	4,158,071
負債純資産合計	10,645,499	10,401,897

(2) 四半期損益計算書
【第３四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第３四半期累計期間 (自 平成21年10月１日 至 平成22年６月30日)	当第３四半期累計期間 (自 平成22年10月１日 至 平成23年６月30日)
売上高	9,658,762	10,325,581
売上原価	6,487,940	6,854,660
売上総利益	3,170,822	3,470,921
返品調整引当金戻入額	24,400	32,400
返品調整引当金繰入額	30,800	31,400
差引売上総利益	3,164,422	3,471,921
販売費及び一般管理費	2,329,063	2,436,189
営業利益	835,359	1,035,731
営業外収益		
受取利息	4,417	5,397
受取配当金	4,763	4,685
不動産賃貸収入	186,363	175,814
その他	31,361	7,661
営業外収益合計	226,906	193,558
営業外費用		
支払利息	32,789	34,758
不動産賃貸費用	65,332	63,669
為替差損	－	111,295
その他	41,153	18,353
営業外費用合計	139,275	228,076
経常利益	922,990	1,001,214
特別利益		
貸倒引当金戻入額	184	60
保険返戻金	68,791	－
特別利益合計	68,976	60
特別損失		
投資有価証券評価損	51,565	15,540
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	6,284
その他	203	－
特別損失合計	51,768	21,824
税引前四半期純利益	940,198	979,449
法人税、住民税及び事業税	389,965	401,189
法人税等調整額	9,915	20,302
法人税等合計	399,880	421,491
四半期純利益	540,317	557,958

【第３四半期会計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期会計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第３四半期会計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
売上高	3,193,668	3,378,927
売上原価	2,146,239	2,312,971
売上総利益	1,047,429	1,065,956
返品調整引当金戻入額	32,600	34,300
返品調整引当金繰入額	30,800	31,400
差引売上総利益	1,049,229	1,068,856
販売費及び一般管理費	836,451	863,472
営業利益	212,777	205,383
営業外収益		
受取利息	1,288	1,856
受取配当金	4,151	3,957
不動産賃貸収入	61,528	59,310
その他	2,858	2,666
営業外収益合計	69,826	67,790
営業外費用		
支払利息	10,459	11,669
不動産賃貸費用	21,700	20,309
為替差損	－	43,436
その他	8,345	7,962
営業外費用合計	40,505	83,378
経常利益	242,098	189,795
特別利益		
貸倒引当金戻入額	454	300
特別利益合計	454	300
特別損失		
投資有価証券評価損	51,565	360
特別損失合計	51,565	360
税引前四半期純利益	190,988	189,735
法人税、住民税及び事業税	96,549	72,824
法人税等調整額	3,819	7,285
法人税等合計	100,369	80,109
四半期純利益	90,619	109,626

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第３四半期累計期間 (自 平成21年10月１日 至 平成22年６月30日)	当第３四半期累計期間 (自 平成22年10月１日 至 平成23年６月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	940,198	979,449
減価償却費	64,541	85,815
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△493	57
賞与引当金の増減額（△は減少）	△5,820	△9,845
返品調整引当金の増減額（△は減少）	6,400	△1,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△9,259	△12,430
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△25,677	12,427
保険返戻金	△68,791	－
投資有価証券評価損益（△は益）	51,565	15,540
受取利息及び受取配当金	△9,181	△10,083
支払利息	32,789	34,758
売上債権の増減額（△は増加）	△298,098	△257,950
たな卸資産の増減額（△は増加）	△191,151	155,766
仕入債務の増減額（△は減少）	100,090	247,112
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	6,284
その他	△66,362	△2,491
小計	520,748	1,243,409
利息及び配当金の受取額	11,328	10,853
利息の支払額	△29,799	△32,336
法人税等の支払額	△426,355	△646,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,922	575,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,035,000	△1,935,000
定期預金の払戻による収入	2,035,000	1,935,000
有形固定資産の取得による支出	△55,741	△19,016
無形固定資産の取得による支出	△31,365	△62,864
投資不動産の取得による支出	－	△22,728
投資有価証券の取得による支出	△7,620	△7,834
投資有価証券の売却による収入	49	－
関係会社出資金の払込による支出	△44,780	－
保険積立金の解約による収入	76,932	－
その他	△7,338	△3,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,863	△115,648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	－
短期借入金の返済による支出	△500,000	△500,000
長期借入れによる収入	－	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△340,720	△950,900
社債の償還による支出	△80,000	△50,000
配当金の支払額	△267,717	△300,737
その他	△52	△1,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△688,490	△302,732
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△682,430	156,623
現金及び現金同等物の期首残高	1,826,784	1,778,501
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,144,353	1,935,125

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。